

課題解決のための諸方策・コンセプト

■解決すべき課題

【これまでの議論から見えてきた解決すべき課題】

- 将来世代に過度な財政負担を強いることなく、また、必要な公共サービスを維持・改善するために、市有財産をどう管理・利活用していくべきか？
- 施設の状況やサービスに見合った適切な料金設定や、利用手続きなど運用面の改善、アクセスの改善など、施設が効率的に利用されるために何をすべきか？
- 廃校となる小学校など、施設の役割が変化した場合は、その施設を具体的にどう利活用していけばよいか？

■課題解決の狙い

②地域に必要な機能を維持・向上する（高齢者・子育て・防災等）

④地域が活性化する（魅力が増す、雇用を生む、地域に金が落ちる、人口が増える、等）

⑤地域間や世代間で利用や負担の公平性やバランスが取れる。

⑥施設が有効に利用され、安全で地域のためになる。

③地域のまとまりや中心性を保つ。

①過度な財政負担が将来世代に残らない。

⑦アクセスしやすく、気軽に使える。



■課題解決のための諸方策

- ・ 前回の議論をふまえ、課題解決の諸方策について加筆しました。

【課題解決の狙い】	【課題解決の諸方策（アイデア）】	【期待する効果】
<p>①過度な財政負担が将来世代に残らない</p>	<p>複合化・多機能化などで規模（面積）を減らす</p> <p>利用料などで収入を確保する,コストを削減する</p> <p>不要な施設や土地を売却・貸付する</p> <p>民間活力の導入をはかる</p>	<p>維持管理コストが減る 維持管理更新の財源捻出 雇用創出</p>
<p>②地域に必要な機能を維持・改善する（高齢者・子育て・防災等）</p>	<p>既存施設の使い方や運営を工夫する</p> <p>未利用・低利用施設に機能を追加する</p> <p>改築・新設の施設に機能を追加する</p> <p>施設活用のための人材を発掘・育成する</p> <p>地域のこどものための施設</p> <p>避難所機能の維持</p>	<p>必要な機能の維持・改善 高齢者の生きがい創出 多世代交流が生まれる 雇用創出</p>
<p>③地域のまとまりや中心性を保つ</p>	<p>地域の人々が集まる拠点施設を新設する</p> <p>施設を統廃合して、狭い範囲に集約する</p> <p>まちの魅力やサービスを強化して地域の人を集める</p> <p>多世代交流型の施設を整備する</p>	<p>地域内の連携が強まる 地域内の交流が深まる 便利になる</p>

【課題解決の狙い】

【課題解決の諸方策（アイデア）】

【期待する効果】

④地域が活性化
する
(魅力が増す・雇用
を生む・
人口を増やす)

- 地域資源活用のために施設・土地を利用する
- 施設・土地の活用で雇用や活動の場を創出する
- 住宅地を増やし居住者を誘致する
- 地域のアイデンティティを活かす
- 地区外からの集客を図る

にぎわいが生まれる
地域の魅力が高まる
地域への愛着が増す

⑤地域間や世代間
で負担の公平性や
バランスが取れる

- 利用者負担（利用料）を見直す（軽減・追加）
- 多くの人が使えるよう制約を緩和する
- 市全体のルールに照らして矛盾がない

負担に納得できる
施設の利用が高まる
施設を利用しやすくなる

⑥施設が有効に利
用され、安全で地域
のためになる

- 施設利用手続きをわかりやすくする
- 施設の数・量を絞ることで維持補修を手厚くする
- 未利用・低利用施設へ新たな機能を持たせる
- 未利用・低利用施設を廃止する
- 未利用空間・施設の有効活用
- 小学校跡地の活用

施設の利用が高まる
安全対策が効率化される
維持管理コストが減る
維持管理更新の財源捻出

【課題解決の狙い】

⑦アクセスしやすく、気軽に使える

【課題解決の諸方策（アイデア）】

- 多目的に使える身近な施設を整備する
- 施設群を地域の中心に集約する
- 巡回バスなど新たな交通機関を導入する
- 駐車場が確保できる場所に施設を整備する
- 自家用車を持たない人がアクセスできる

【期待する効果】

にぎわいが生まれる
地域の魅力が高まる
地域への愛着が増す
アクセス性の向上

■ 対策案（たたき台）の作成までの流れ

- 課題を解決するための諸方策をご提案いただいたコンセプトを参考に組み合わせ、対策案のたたき台を作成します。
- 今日ご用意した対策案（たたき台）は、ワークショップでの議論を促進するために、予め事務局で用意したものです。これらを議論のたたき台として、新たな対策案を考えましょう。
- その際、課題を解決するための対策案であることを念頭に、地域の公共施設の現状を踏まえて、予断なく検討しましょう。

